

事務事業名		佐野市畜産振興協議会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農業振興係	担当課長名	藤掛広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 農地の有効利用					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	9120	一般	6	1	3	佐野市畜産振興協議会支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S49年度～ 年度		根拠法令等	佐野市補助金交付規則					
							事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
								任意的事業・義務的事業		任意的事業	
								実施方法		直営	
								事業分類		支援事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野市畜産振興協議会に補助金を交付している。補助金はこの団体の運営費補助としての性格のものである。 * 佐野市畜産振興協議会は、市内畜産農家、農協、市、県、農業共済組合等で組織する団体で、畜産業の振興のため、伝染病予防対策や防疫事業の推進、研修会や共励会を実施している。			(市の活動) 畜産振興協議会の事務局事務、補助金の交付事務を行った。 (協議会の活動) 畜産業の振興のため、伝染病予防対策や防疫事業の推進、渡良瀬河川敷を活用した採草地育成事業、研修会や共励会の実施を行っている。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			研修会・共励会の開催回数	回	2	2	2	2	2	2
			消毒や害虫駆除の実施箇所数	箇所	6	5	6	6	6	6
			家畜伝染病検査や予防接種の実施箇所数	箇所	2	6	2	2	9	9
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
佐野市畜産振興協議会			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			協議会員の畜産農家	戸	26	25	25	25	25	25
			協議会員の家畜数(牛・豚)	頭	728	685	650	650	650	650
			協議会員の家畜数(鶏)	羽	93,200	82,180	82,000	82,000	82,000	82,000
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
家畜伝染病の発生を予防する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			伝染病の発生件数	件	0	0	0	0	0	0
			畜産公害の発生件数	件	0	0	0	0	0	0
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
利用集積を積極的に行ってもら。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			農地貸借面積(公社保有面積)	ha	-	1,131.7	1,050.0	1,100.0	1,150.0	1,150.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	542	600	500	500	600	
	事業費計(A)	千円	542	600	500	500	600	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	542	補助金	600	補助金	500
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	500	500	500	500	500		
人件費計(B)	千円	1,946	1,971	1,971	1,971	1,971		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,488	2,571	2,471	2,471	2,571		

事務事業名	佐野市畜産振興協議会支援事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
-------	----------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和49年度から佐野市酪農連絡協議会、佐野市肉用牛肥育振興組合、佐野市振興協議会、佐野市養鶏振興協議会が統合したことにより、畜産の振興を目的として事業に参画した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	畜産農家の減少などがあるものの、飼育規模の拡大、技術の高度化・専門化が進んできている。また、食料自給率の向上にあわせ、自給飼料の向上が求められてきている。また、家畜伝染病に対する防疫対策の重要性が、近年更に高まっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	事業対象者からは、事業継続を望む意見あり。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	事業内容の見直しにより補助額を減額した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	協議会が実施する衛生事業や防疫対策事業を支援することは畜産業の振興、及び農地の有効利用に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	畜種によって関係農協が存在するものの、全畜種を対象とした畜産農家の生産組織が他にないため、当協議会を支援することは市内畜産業の振興、特に家畜伝染病予防の観点から必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	佐野市畜産振興協議会への支援により、畜産業の振興を図ることは、農地の有効利用に結び付くため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	年々畜産農家は減少しているが、協議会に加入していない畜産農家への加入促進を推進する。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	平成23年度に、法定外特殊伝染病対策支援事業、家畜伝染病発生予防対策支援事業、採草地育成促進事業と統合している。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	事業費は、助成内容、負担割合などの見直しにより、削減する余地はある。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	飼養頭数に応じて会費を負担しており、適正と考える。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	自衛防疫を目的とした当協議会は、家畜伝染病の防疫体制確立に向けて不可欠であるが、事務局を農業者団体(JA、酪農協等)に移管し、且つ自立した運営が可能となったとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 事業内容を見直すことにより補助額を減額する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持	○		×	低下		×	×	補助対象団体や関係団体(佐野農業協同組合、両毛酪農業協同組合など)との協議が必要になる。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持	○		×																			
低下		×	×																			